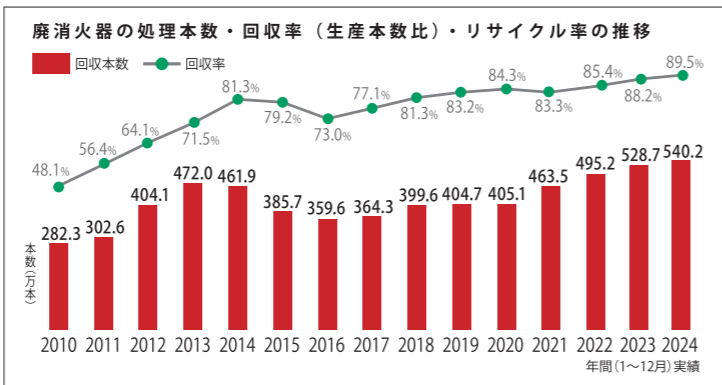


年次報告

2024年度の回収本数は540万本超え 3年連続で過去最高を更新

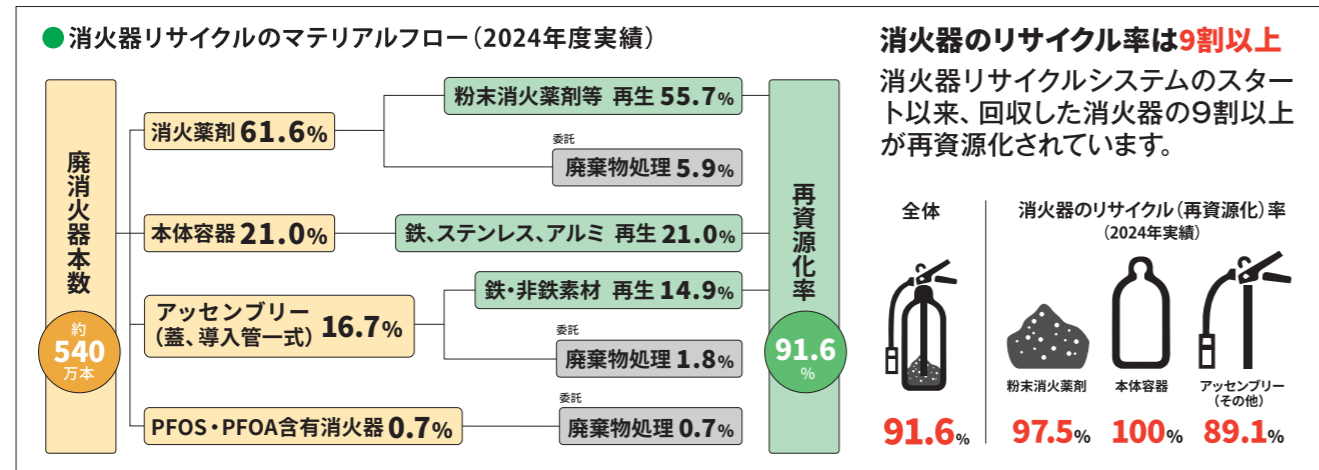
消火器回収本数は、2022年度に495万本、2023年度は528万本、2024年度も540万本と3年連続で過去最高となり、順調に回収本数が増えています。

その結果、システム運用開始時からの累計処理本数は6,270万本を超過。回収率も2024年度は89.5%と3年連続で過去最高となりました。



2024年度の再資源化率は91.6%

2024年度の再資源化率（広域認定内）は91.6%で、常に90%以上の再資源化率を継続しています。



消火器リサイクルの YouTube 広告動画を制作しました！

消火器リサイクルに関する YouTube 動画を制作しました。よろしければご覧ください。



「古い消火器の放置を、地域の安心・安全の課題に」

古い消火器は放置せず、適正なリサイクルを。
安全な暮らしを守るため、消火器リサイクルの推進にご協力ください。



お電話でのお問合せはこちらまで

03-5829-6773

(受付時間 9:00~17:00
ただし土日祝日、休日および 12:00~13:00 を除く)



PCから

消火器リサイクル窓口

検索

www.ferpc.jp/accept/



(一社) 日本消火器工業会



(株) 消火器リサイクル推進センター

〒111-0051 東京都台東区蔵前三丁目15番7号 蔵前酒井ビル2階 電話：03-5829-6773 ファックス：03-5829-6774

「RECYCLE REPORT」は消火器リサイクル推進センターが発行するニュースレターです。廃消火器のリサイクルに関する情報をお届けしています。

Recycle Report

最新版

家庭に眠る消火器と リサイクルの実態調査

廃消火器リサイクルシステムの運用と
一般家庭の保有状況調査

一般社団法人日本消火器工業会
株式会社消火器リサイクル推進センター

知っていますか？

ご家庭にある消火器のうち、**4本に1本は**
10年を超えた古い消火器です!!

処分しない理由を
尋ねたところ

56.4%が

「どのように廃棄すればよいかわからないから」と回答

さらに

19.2%が「まだ使えるかもしれないので
もったいないから」と回答

年次報告

廃消火器の回収本数

540万本超

再資源化率

91.6%

家庭に眠る消火器とリサイクルの実態



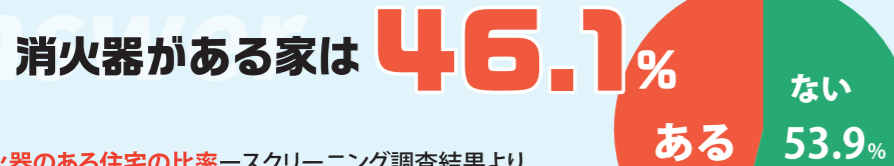
調査内容

一般家庭に設置されている消火器の実体を確認すべく、消火器の保有・廃棄に関する調査を2025年9月に実施。

調査概要

事前スクリーニング調査(無作為2万4,239人)を実施し、戸建て住宅と共同住宅での消火器保有率を算出。本調査は消火器の「保有本数」、「不要本数」、「製造年(経過年数)」、「廃棄方法」などを調査。

あなたの家に消火器はありますか？



▼消火器のある住宅の比率—スクリーニング調査結果より

	一戸建て	共同住宅	全体
全体比率	35.7%	49.9%	46.1%

アンケートの結果、約半数の家庭に消火器が置かれていることがわかりました。大地震などの大規模災害時には、消防車や救急車がすぐに到着できない可能性があります。家に消火器が1つあるだけでも安心感が違いますよね。

コラム 消火器は家の中の「頼れる味方」

火災が発生した際、天井に火が届くまでの「わずか2分」このわずかな時間に頼れる味方が消火器です。設置場所の確認と、使い方のイメージトレーニングその備えが、あなたを守り抜く手段になります。

消火器を使用したことで消火に成功した割合

75.5%

出典:東京消防庁2024年中



全国に眠る不要な消火器は？

推計 **720.4** 万本

▼全国の住宅における不要消火器の保有本数—推計値

	一戸建て	共同住宅	合計
合計	337.1万本	383.3万本	720.4万本

「頼れる味方」である消火器も、管理されていなければ本来の力を発揮できません。「ある」だけで満足せず、「使える状態か」を今すぐチェックし、使えない場合や不要な場合は廃棄し、新しい消火器と交換してください。

不要な消火器が何本あるか確認したところ、一戸あたりの平均保有本数は、一戸建てで0.33本、共同住宅で0.30本。つまり街を見渡せば「3本に1本」は、処分が必要な消火器を抱えているのが現状です。



※不要な消火器:経過年数に関わらず未使用だが必要がないもの

あなたの家の消火器は何年前のもの？

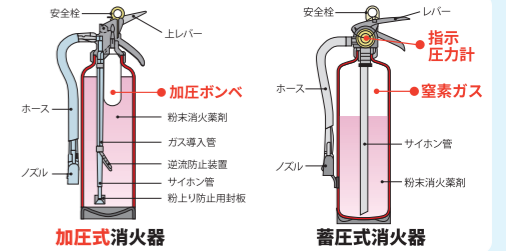
4本に1本は製造から **10** 年 超え
10本に1本は製造から **20** 年 超え

▼住宅の建て方別にみた保有消火器の製造後年数—一本調査結果より

製造後の年数	一戸建て	共同住宅	全体
10年以内	69.6%	81.5%	75.0%
11~20年	18.3%	11.7%	15.3%
21~30年	8.1%	4.4%	6.4%
31年以上	4.0%	2.4%	3.3%

コラム 「加圧式」と「蓄圧式」

消火器の使用期限は住宅用5年、業務用10年。昭和から平成に普及した「加圧式」はレバーを握ると一気に高圧がかかるため、腐食が進んだ古い本体は破裂する恐れがあります。加圧式消火器は「蓄圧式」または「住宅用消火器」への買い替えの検討を案内してください。



家庭にある消火器 廃棄しない理由は？

「どのように廃棄すればよいかわからないから」との回答が **56.4%**

▼不要な消火器を廃棄しない理由(複数回答)一本調査結果より

どのように廃棄すればよいかわからないから	56.4%
まだ使えるかもしれないので、もったいないから	19.2%
当面置いておける場所があり、特にじゃまになっていないから	18.6%
わざわざ消火器販売店等まで持っていくのが手間だから	12.7%
近隣に消火器を引き渡せる消火器販売店等がないから	12.1%
廃棄するときに回収・処理料金がかかると思われるから	11.9%
消火器に錆び・腐食・傷・変形等があり危険と思われるため	6.5%
廃棄しようとしたが、引き取りを断られたから	4.2%
その他	1.0%

- 要因**
- ・消火器に**使用期限**があることを知らない
 - ・消火器の**廃棄、リサイクル**方法を知らない
- 解決**
- ・広報活動によって消火器に使用期限があることや廃棄、リサイクルができることを広める。
- 回収**
- ・**特定窓口** ・**指定引取場所**
- 全国約5,200カ所の窓口で回収できます。

消火器リサイクル窓口 検索 www.ferpc.jp/accept/



←処分方法は
はこちら



TOPIC!

PFAS対応について

消火器工業会では、過去に製造された液体消火薬剤の一部に含まれ、規制対象となる有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)含有消火器について、環境省が策定したガイドラインに基づき適切な処理を行っています。さらに、会員メーカーでは有機フッ素化合物を含有する消火器・消火器用消火薬剤の生産を中止しています。

各自治体で廃棄、廃棄方法の
広報活動をお願いいたします。



- ① スプレー式消火器具は、回収対象外です。
- ② 各自治体で他のスプレー缶と同様の廃棄方法をお伝えください。

❗️ご注意ください!
スプレー式消火器具は
回収対象外です!



広報誌や
ゴミカレンダーの
掲載例はこちら▶



- ① 自治体で回収できない場合は消火器は回収できませんと明記する。
- ② 消火器に関しては当センターを案内する。

ゴミカレンダーへの掲載



当センターリンク▼
<https://www.ferpc.jp>

ホームページ
への掲載例は
こちら▶



※買い替え時、販売店が下取り可能な場合があります。

- ① ゴミの捨て方関連のページに掲載する。
- ② 当センターを紹介、リンクを記載する。
(窓口検索、捨て方)

ホームページへの掲載

自治体の皆さまへ
広報活動に
ご協力ください